「広陵町自治基本条例」って知ってる？

自治さんと学ぶ 自治基本条例講座

問 協働のまちづくり推進課 ☎内線 1366

Vol.34

「自分たちの役割を知ることから」がまちづくりの第一歩

～策定委員会グループディスカッション～





参加の段階

＜ 直接の参加方法 ＞ ⇔ ＜ 間接の参加方法 ＞

- 住民投票
- 委員会
- ワークショップ
- コンペ、コンクール
- アンケート
- 対面ヒアリング
- マッピング
- ニュースレター

▶▶ **段階に“優劣”はなく、どの参加も必要！**

＼皆さんの参加が声となり、まちづくりにつながっていきます！／



広陵町介護保険事業計画及び高齢者福祉計画は、保険給付の円滑な実施のために3年間を1期として策定しています。現在は、第9期（令和6～8年度）の策定年度です。

#計画策定に当たって

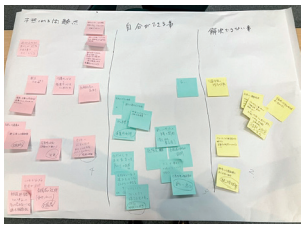
計画策定委員会では、今後の介護保険制度の費用負担や仕組みなどの話し合いを行っています。委員は、保健医療・福祉関係者及び住民代表者で構成されています。これまでは、町からの情報を元に計画案などを審議していましたが、事例をもとに高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために助け合える地域づくりを目指して、自分たちができることを考えるためのグループディスカッションを実施しました。

#自分の役割を知って自分たちのできることを考える

グループディスカッションでは、それぞれの立場での考えや意見を聞くことで、改めて自分たちの役割を認識し、自分たちができることを考える、そしてその役割を担うために、誰と協力すれば良いかを話し合っていただきました。

#助けを必要としている人の立場になって考える

（住民代表：半澤さん）グループディスカッションは、結構盛り上がりました。グループ内に民生委員の方がおられたので、お話を聞くことで民生委員の取り組みがよくわかりました。高齢者の中には、人に迷惑をかけたくないとおっしゃる方もおられるので、地域の住民同士で「助けてもらってもいいんですよ」と声かけすることも自分たちの役割であると思いました。私の妻は、以前住んでいたところで、毎日隣の人に電話をかけて安否確認をしていました。そういうことができればいいなと思います。誰かと協力してできることは、地域で仲の良い友人をつくることが一番だと思います。





町では、住み慣れた地域で住み続けるために、できることを一緒に考えていく取り組みを進めています。